

【先端科学技術研修「新2年理数科基礎合宿」を実施しました！】

こんにちは！SSH推進室Facebook担当です。

5月31日（火）に2学年理数科クラス（34名）を対象に先端科学技術研修を実施しました。当日は以下の4つのグループに分かれて実習を行いました。

海の水の流れ

サケの年齢組成

物質としての生物

海洋生物の進化と適応

海の流れの実習では、海の水の流れを理解することを目的とし、沿岸海洋物理学の座学にプラスして、水温と塩分の実際のデータを使ったデータ解析を行いました。

サケの年齢組成の実習では、データ取りから考察まで、研究の一連の作業を体験することを目的とし、産卵のために三陸に戻ってきた親サケの年齢を顕微鏡を使って調べて年齢組成を可視化、その結果から分かることを考えました。

物質としての生物の実習では、大槌周辺の海の試料を用いて、環境管理に不可欠な生物を物質として捉える視点を学びました。また、不均一な試料から得られるデータの取り扱いから、議論に必要なデータの精度を得るために必要なコストについて体験を通じて考えました。

海洋生物の進化と適応の実習では、無脊椎動物（ウニ・ヤドカリ・カサガイ・フジツボなどを検討中）の解剖・形態観察を行いました。そして、各種の特徴的な構造がどのように使われているのか、どう進化してきたのか等について仮説を立て、発表・議論しました。

